

第9回AI戦略実行会議 御説明資料

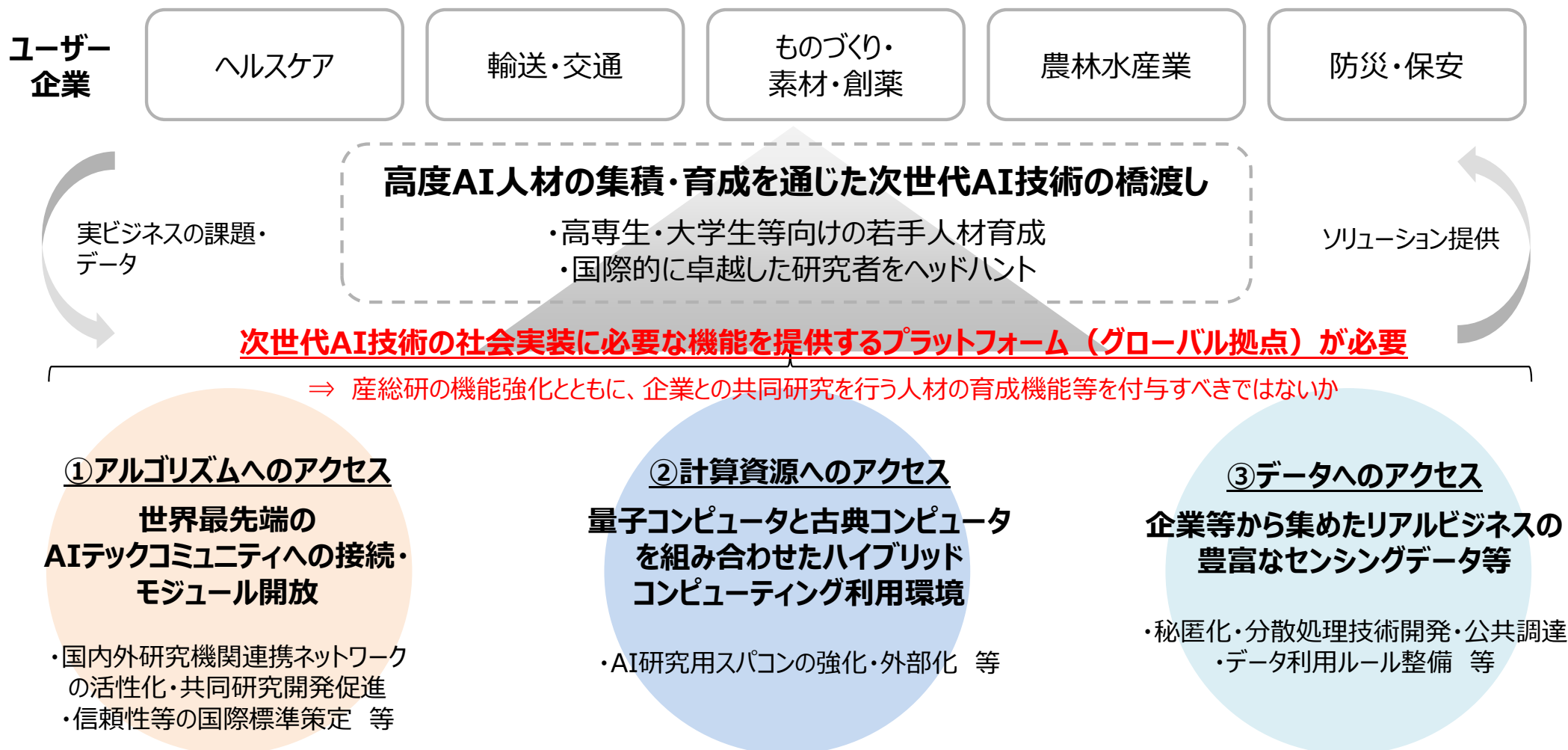
2022年4月

経済産業省

今後の方向性：次世代AI技術に関する官民戦略

「新しい資本主義実現会議」（第4回）
萩生田経済産業大臣提出資料より抜粋

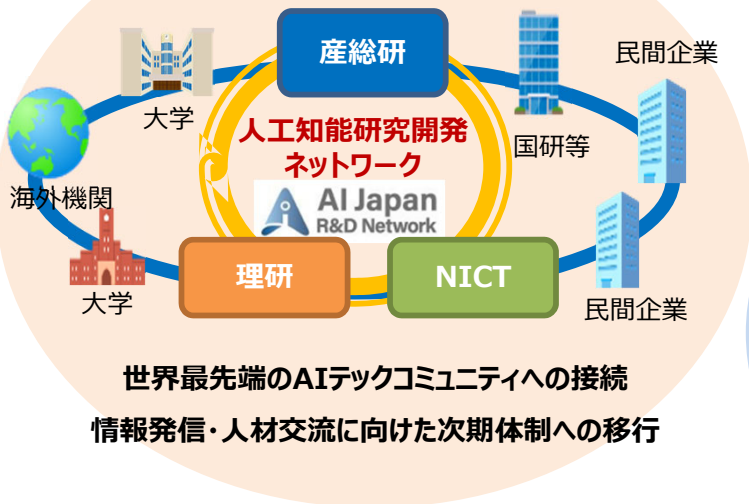
- サイバーフィジカル領域のアプリケーション開発には、日本のユーザ企業が、世界最高水準のアルゴリズム・計算資源・データ収集の3つの技術にアクセスできる環境が必要。
- また、様々な実ビジネスの現場にAIを実装するには、次世代AI技術の企業への橋渡しを担う研究人材が必要だが、不足している状況であり、こうした人材の育成も必要。



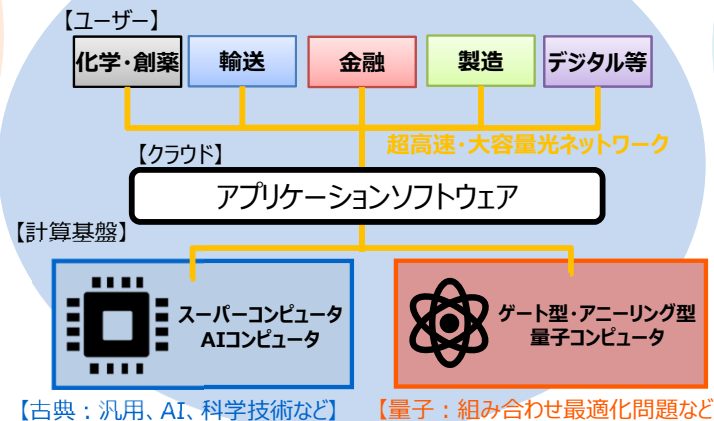
主な取組①：AI技術の社会実装強化に向けた取組

- AI技術の社会実装推進に向け、世界最先端のAIテックコミュニティに接続する**人工知能研究開発ネットワークの機能強化**、次世代の計算基盤を見据えた**量子・古典ハイブリットコンピューティング技術開発**、産業データ流通を促進する**秘匿化・分散処理技術開発**等を推進

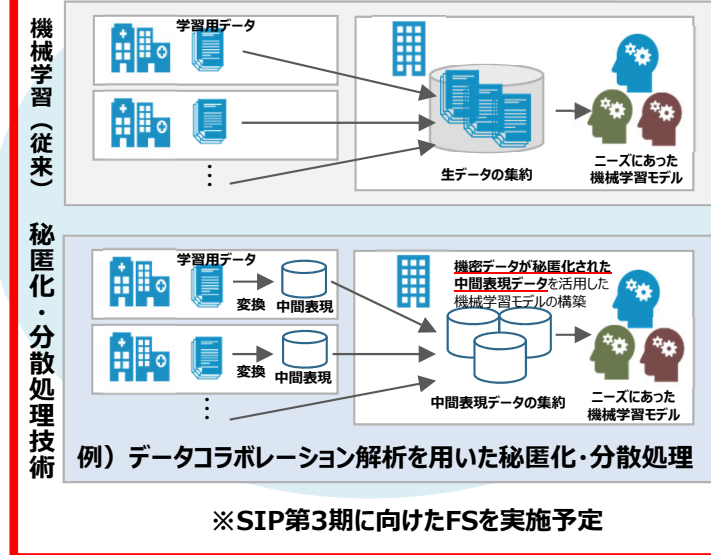
人工知能研究開発ネットワークの機能強化



量子・古典ハイブリットコンピューティング技術開発



秘匿化・分散処理技術によるプライバシーを保護した機械学習



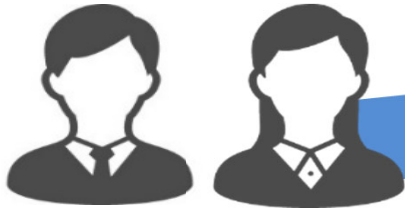
【AI戦略2022（案）との対応】

大目標	主な取組
研究環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・人工知能研究開発ネットワーク等における本戦略の下での情報発信、人材交流・育成、若手研究者支援、共同プロジェクトなどの推進 ・世界トップレベルのA I 研究拠点化に向けた計算機設備等の増強
AI利活用を支えるデータの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・産業データ流通を促進する秘匿化・分散処理技術の開発

主な取組②：高度AI人材育成の強化

- 様々な実ビジネス現場で次世代AI技術を企業へ橋渡しできる若手研究人材の育成に向け、産総研等におけるOJT教育や模擬環境を活用できる環境整備に着手。

若手研究者・高専生・大学生等



実ビジネスへの社会実装を担う高度AI人材
海外機関との連携・人脈を持つグローバル人材



産総研・人工知能研究センター等



ABCI・模擬環境設備等

- ・裾野を広げたOJT教育の拡充
- ・企業との共同研究等による「実社会」をテーマとした活動環境の提供
- ・海外連携機関との共同プロジェクトへの参画強化

【AI戦略2022（案）との対応】

大目標	主な取組
人材確保等の追加的な環境整備	産総研等における <u>高度AI人材育成の強化</u> （計算資源や模擬環境等を活用した若手AI人材の教育機会の創出、海外人材派遣・受入制度の強化）